

次世代がんプロフェッショナル養成プラン 令和8年4月 (がん治療を支える多領域人材養成コース)

文部科学省の支援事業「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」に、昭和医科大学を含む8大学合同の「関東次世代のがん専門医療人養成プラン」事業が2023年6月に採択され、2024年度から大学院教育を中心としたがんプロフェッショナル養成をスタートいたします。本コースを選択し、がんの治療・ケアとチーム医療に関わる所定の科目の履修とがんに関連した研究を行うと、科目履修修了時に「昭和医科大学がんプロフェッショナル養成コース 修了証」が授与され、皆さんにとって誇るべきキャリアとなります。奮っての参加を期待します。

対象者	医学・歯学・薬学・保健医療学研究科博士課程大学院生 保健医療学研究科博士前期課程大学院生
修業年限（期間）	4年（保健医療学研究科は3年）
養成する人材像	医系総合大学の昭和医科大学の特色を活かし、各領域に共通するがん患者の痛みの治療・ケアなどのQOL向上や終末期医療、がん関連学際領域（腫瘍腎臓病学や老年腫瘍学など）に対する基本知識・技能・態度を修得し、多領域が連携協働するチーム医療を基盤とするがん患者のケアを実践できる専門家を養成する。講義、演習（多職種ワークショップなど）、セミナー、医療現場での討議を通して、がん終末期に対するチーム医療を積極的に実践する医師、歯科医師、薬剤師、看護師、作業・理学療法士、診療放射線技師、医学物理士、遺伝カウンセラー等を育成する。
修了要件・履修方法	昭和医科大学大学院博士課程の学生で、本教育プログラム・コースとして構築した必修の共通コア科目1科目（1単位）と選択必修科目3科目以上（3単位以上）を履修する。各研究科の科目を履修して修了に必要な単位を修得し、がん治療・ケアに関連する学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格し、学位を取得した者を修了とする。

履修科目等

< 必修科目 > 1単位 (1科目)

【共通コア科目】

・ 4大学院がんチーム医療(以下*を含む)

* 4大学院 (昭和医大、東京慈恵会医科大、星薬科大、上智大) がんチーム医療ワークショップへの参加 (必須)
グループ討議、ロールプレイを組み合わせた問題解決型学習

※2026年度のワークショップ開催日は決まり次第ご連絡いたします。(主管校: 星薬科大学)

* 東京慈恵会医科大学、星薬科大学、上智大学で開講される授業 (選択)

* がん治療研究のための基本研究技法トレーニング演習 (選択)

* 連携8大学で整備するE-ラーニング講義の受講(下記から1つ以上必須)

がん患者の社会的サポートとサバイバーシップ

医療開発総論

新しい内科的治療モダリティとがん治療イノベーション

がん免疫療法総論 1 CAR-T療法の基礎と臨床

※上記の他、がん関連の多領域の優れたE-ラーニングプログラムが多数用意され、自由に視聴可能

< 選択必修科目 > 3単位以上 (所属研究科以外の科目も、必ず1単位以上選択する)

【医学研究科科目】

・ 共通科目 分子生命科学的解析法 (先端がん治療研究所) ・ 専攻科目 腫瘍内科学

【歯学研究科科目】

・ 共通科目 生体の病理病態学的解析法(口腔病理学)

【薬学研究科科目】

・ がん薬物療法学 ・ 薬学的がんケア学

【保健医療学研究科科目】

・ 放射線腫瘍学 ・ 放射線生物学 ・ がん看護学特論III

※がん看護学特論IIIを履修する場合は、さらに2科目以上を履修すること。

< 自由選択学修 > 任意・随時に選択・参加可能

・ がん治療を支える人材養成セミナー (年3回開催予定)

・ がんデータ科学推進人材養成セミナー (年3回開催予定)

・ がん治療イノベーション人材養成セミナー (年3回開催予定)

・ 大学病院がんセンターボード (乳腺、呼吸器、消化器、食道、週1回開催)

・ がんゲノム・エキスパートパネル (がん研有明病院との共催、隔週開催)